

校 歌

大島商船高等専門学校校歌

岡本暢也 作詞
星野哲郎 補作
桜田誠一 作曲

いいののやまはみどりにあけてこう
がくのしきふもとーをかこむ
わかものたちはじだいをみつめ
せかいへむけてぎをきそいしおのかめぐるおー
おーしまのわがまなびやにのぞ
みーはたぎる

大島商船高等専門学校校歌

- 一、飯の山はみどりに明けて
向学の士氣麓を囲む
若者たちは時代をみつめ
世界へ向けて技を競い
潮の香めぐる大島の
わが学舎に望みはたぎる
- 二、笠佐の島に春かえる日も
鳴門の瀬戸に秋立つ日にも
若者たちは真理を究め
未見の我を磨きだす
この透きとおる窓の中
惜春の情あふれてやまず
- 三、七つの海に命を浮かべ
青春賭けた伝統の血は
若者たちの腕を流れ
平和の鐘をうち鳴らす
ロマンを愛す大島の
祈りははるか銀河をわたる
- 四、俗塵洗う琥珀の海に
夕陽はうたう未来への讃歌
若者たちは肩くみあつて
はてなき夢を語りあう
コンパスの旗永久を指し
わが学舎に理想は宿る